

土砂災害対応訓練の実施について

恵那市消防本部

令和2年11月24日、25日の両日、土砂災害対応訓練を株式会社丸九興業の協力のもと、砂取場を借用し実施しました。

訓練は土砂により要救助者1名が生き埋めになっているという想定で実施し、土砂再崩落等の二次災害を防止するため、グラウンドパッドの設定、コンパネ、杭による応急土留めを設定し救出しました。

このような災害は当消防本部では事例がなく、また実際に土砂を使用し訓練を行うことができなかつたため、今回の訓練により災害のイメージ、隊員間の連携、設定方法が確認でき大変有意義な訓練となりました。

今後も訓練を継続して実施し、有事の際に迅速な救助活動の確立及び連携活動の向上を図ります。



女性消防職員活躍推進に関する研修会を開催

豊橋市消防本部

当消防本部では、3月25日に総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーである川崎市消防局の熊谷智子様を講師に招き、女性消防職員の働きやすい環境づくりを考えるため研修会を開催しました。

女性消防職員の歴史や女性活躍推進を図るうえでの留意事項を学ぶとともに、産休・育休復帰時のリスタートプログラムなど先進事例の紹介を受け、今後取り組むべき女性活躍推進事業の展望を抱く研修会となりました。



消防通信 望楼 ぼうろう

令和2年秋季火災予防運動に伴う火災予防広報について

守口市門真市消防組合消防本部

当消防組合では、秋季火災予防運動の一環として、低圧進相コンデンサから出火する火災を予防するため、工場を訪問し広報活動を行いました。中でも、火災が発生し延焼すれば消火活動が困難で、人命危険の高い密集市街地にある工場を対象としました。

低圧進相コンデンサからの出火件数は「こんろ」や「たばこ」などに比べると件数は少なく、低圧進相コンデンサが設置されていることを知らない事業所もありました。そうした事業所に対して、出火防止対策などを広報できたことは有意義なものとなりました。

今後も火災原因調査の結果を事業所の特色に応じて関係者に知らせるなどし、積極的な予防広報活動を実施していきます。



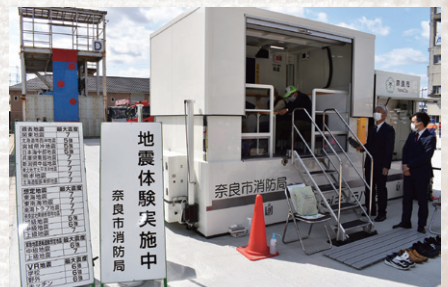
防災指導車体験会を実施

奈良市消防局

当消防局では、3月14日、令和3年度から運用を開始する防災指導車の体験会を実施しました。

体験会では、来賓としてお招きした方々が、起震コンテナによる地震体験、水消火器を使用した消火体験、煙避難体験、119番通報体験を行いました。奈良市全域をターゲットに、各地域に出向いて防災啓発を行うことを目的としていることから、愛称を「Bousai キャラバン号」と命名しました。

今後は、「Bousai キャラバン号」を活用し、市民の更なる防災意識向上に努めます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】